

第1回懇談会での意見内容

第1回懇談会での意見内容

委員名	委員からの主な意見	河川整備計画本文(原案)への反映
久野委員	堰下流の洲が流下阻害にならないのか？	P54に、樹木の伐採について記載(モニタリングしていくことを記載)
村上委員	中津城の整備を行っているが、それとタイアップした計画はないのか？	P39に、中津城を含む歴史・文化・観光資源(景観)を後世に引き継ぐため、関係する文化部局等の機関と連携し保全に努めますと記載
久野委員	アカザ等について、地元がとっている保護対策はあるのか？	・P39 アカザ等の生育・生息環境をモニタリングし保全に努めることを記載
佐藤委員	河床掘削による環境への影響は問題ないか？	・P40 「川の中の多様な生物の生態系や山国川固有の歴史・文化にも配慮した整備に努めていきます。」と記載
佐藤委員	河川内に良い中洲があるが、中洲の掘削はないのか？	同上
仲上委員	ダイハツの進出で、将来的に人口が増える可能性がある。人口増加に対応できる流域計画、河川環境の提供を考えていく必要がある。	・P49 市民に開かれた憩いの水辺空間を創出していくことを記載
仲上委員	河川整備基本方針という呼び方はすべて漢字でなじみにくい。良いネーミング(愛称)をつけたらどうか？	・整備計画パンフレットのタイトルは「山国川の川づくり」としている
仲上委員	今後流域を含めた計画を考えていくべきである	
仲間委員	中津市が景観法に基づく景観助成団体となる予定があるか知っておく必要がある。	・中津市は、景観法(平成16年法律第110号)第7条第1項ただし書きの規定により、平成18年7月21日付けで景観行政団体となっている。
仲間委員	事業を個別に捉えている気がする。(歴史的施設、現代の良い環境を分けて考えている。)今あるものに歴史的なストーリーがあることを踏まえて本文を作成すべき。住民が見た場合に山国川の歴史が読み取れるような記述を心がけてほしい。	・P7に治水の歴史を記載 ・P10に利水の歴史を記載 ・P27に名勝耶馬溪について記載
久野委員	オヤニラミを捕獲してもっていく人がいる。対策は行っているか？	・P66に外来種対策について記載
村上委員	山国川には何種類の魚がいるのか？調査は行っているか？	・P43に、河川水辺の国勢調査等のモニタリングを行い・・・と記載しており、今後の取り組みの一つとして明記
村上委員	子供の頃は、川で魚を獲っていたが、今は見られない。環境の復元をしたほうが良いのでは？	・P40 「川の中の多様な生物の生態系や山国川固有の歴史・文化にも配慮した整備に努めていきます。」と記載